

大会宣言

新型コロナウイルス感染症との闘いは三年目を迎えた。この間、亡くなられ、健康を害された方々に心からお見舞いを申し上げる。また、感染者の治療や感染防止対策に全身全霊を捧げておられる医療従事者、エッセンシャルワーカーの皆様に敬意を表する。

我が国の労働災害は、関係者の努力により、長期的に減少してきた。しかし、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の中、多くの方々の努力にもかかわらず、労働災害による死者数は増加に転じた。また、休業四日以上之死傷災害については、第三次産業を中心に近年増加傾向にあり、平成十年以降で最多となっている。高齢者の労働災害が年々増加し、転倒災害や墜落・転落災害などが依然として減少していない中で、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の罹患によるものも多数発生している。

労働者の健康をめぐる状況は、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み又はストレスを感じる労働者が多く、さらに、コロナ禍での働き方の変化の影響についても注視していく必要がある。また、化学物質による健康障害の防止対策や、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立は引き続き大きな課題となっている。

全社的な安全衛生活動や、安全衛生意識の醸成をコロナ禍においても推進し、諸課題を克服していくためには、DXに代表されるイノベーションをハード・ソフト両面で取り入れ、活かしていくことが重要となる。本大会は、企業の、さらには業種の垣根を越えて、全国の関係者の参集の下、最新の情報を共有し、学び、交流する場である。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。

ここ福岡の地で開催される本大会において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにするとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立に、関係者が一丸となって取り組むことを誓う。

右、宣言する。

令和四年十月十九日